

Jクレジット制度認証委員会 御中

実績確認概要書

平成 28 年 02 月 29 日

審査機関名 株式会社日本スマートエネルギー認証機構

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	株式会社ヒガシマルにおけるボイラー・乾燥設備の燃料転換
承認番号	JCDM-PJ1047
排出削減事業者名	株式会社ヒガシマル
排出削減共同実施事業者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社
事業実施場所	株式会社 ヒガシマル 鹿児島工場 (鹿児島市谷山港 2 丁目 1 番 11 号)
事業の概要	本事業は、株式会社ヒガシマル鹿児島工場において、既設の重油ボイラーを都市ガスボイラーに更新し、また、製品乾燥用に重油ボイラーの蒸気の熱を利用する乾燥設備を、都市ガスの直火を利用する乾燥設備に変更することにより、二酸化炭素排出量を削減する事業である。
排出削減量の計画	2009 年度 210 tCO ₂ /年 2010 年度 299 tCO ₂ /年 2011 年度 342 tCO ₂ /年 2012 年度 342 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 1,193tCO ₂)
Jクレジット・国内クレジット認証期間	事業開始日 2009 年 7 月 1 日 終了予定日 2021 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新 方法論番号 035 乾燥設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2015年12月31日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	1,342 tCO ₂ （2013年4月1日～2015年12月31日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画に従い、高効率ボイラー及び高効率の乾燥設備を導入する事業であることを本実績報告期間におけるエネルギー使用実績により確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績により確認している。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを事業計画との突合及びエネルギー使用実績により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認済排出削減事業計画に従って、ガスメーターの集計値によって都市ガス使用量が、生産量月報によって生産量の把握がなされていることを確認した。 2) 都市ガス使用量、生産量については、報告期間中に亘り、

	<p>記録責任者の管理の下、計測結果が記録されており、本データが正確に集計・算定されていることを、関係事業者への質問、集計データの突合等により確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程を確認した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>5) その他 その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2021 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2013 年 4 月 1 日～2015 年 12 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2021 年 3 月 31 日を超えないことを確認した。</p>

5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算 316.5 kl であることを確認した。

以上